

ALT



こんにちは
ルーカス・クラークソン
外国語指導助手 (ALT)
です

さよならを言うこと

皆さんこんにちは。そしてようこそ私の広報最後の記事へ。なんだか唐突のよう^{とつ}に聞こえますが、残念ながらこのように書き始めるのが一番だと思いました。五條市教育委員会との契約が終わり、私がますます好きになってきた市とお別れをする時がやってきました。でも知っておいていただきたいのは、私はたくさんの素晴らしい経験を積み上げて旅立つと言うことです。上野公園で夏の太陽の光と熱をあびたり、西吉野の川で泳いだり、冬には新町通りで骨まで凍りそうな寒さの中をランニングしたりしました。これらすべての経験を通して、その奥底からこれらの経験の輝きをいっそうきわだたせているものがあります。それは友情です。簡単ではありますが、五條滞在中にお世話になったすべての人々と学校にお礼を申し上げます。

まず五條市教育委員会の皆さんに二年の間、大変親切にいただきありがとうございました。そしてすべての学校とその子供たち、先生方にお礼を申し上げます。私が皆さんに教えさせていただいたこともたくさんあったでしょうが、それ以上に多くのことを皆さんは、私に教えてくれました。皆さんのことを決して忘れません。公民館の英会話の生徒の皆さん。皆さんの熱意と学ぶ姿勢にうたれ、私も良い教師になりたいと頑張ることができました。英語が上手になりたいという探求の旅を決して途中で投げ出さないでください。またすべての駅伝の走者の方々。今年私は数々の事故で出場できませんでしたが、去年素晴らしい経験ができたことに感謝いたします。そして五條のすべてのお店屋さん、飲み屋さんに感謝します。大変親切におもてなさいました。これからもますます繁盛されますように。皆さんのご親切を決して忘れません。最後に、ALT担当の先生方、数年間にわたり私とALTのためにしてくださったご親切に心からお礼申し上げます。短期間でしたが、五條で師範の指導のもと少林寺拳法を習いました。生徒仲間と共に多くのことを学びましたが、それらすべてを通して底流に流れる一つの教えがありました。それは、どんなに素晴らしい地域社会、市、国、文明であっても、その中の個人の資質が良くなければ崩壊するだろうということです。そして五條という市をこのように素晴らしい市にしているのは実にそこに住む市民の資質だと、私は信じています。

五條は二年間、私の家でした。そして今、素晴らしい思い出を胸に、そしてつらい心でさよならを言わなければなりません。最後に皆さんにお願いしたいことがあります。それは多少皆さんの頑張りを求めるものかもしれませんが、どうか、日本が徐々に異文化理解を阻害する壁を壊し始めたように、五條の皆さんが国際化の精神を持ち続けていって欲しいということです。どうか皆さんがそのリーダーになり必要なときには行動を起こし、そしてこれが最も大切なことですが、お互いが文化、国境を越えて友達になってください。

皆さんが私に与えてくださったことに心から感謝致します。いつかまた多くの皆様とお会いしたいです。その時まで、どうか、お元気で、お幸せに！！

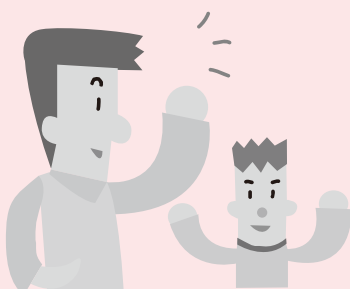
*この記事は、ALTの書いた英文を訳したものです。
英語版は中央公民館にあります。

地域の子どもは 地域で育てる

— どの子にも わが子と同じ 声をかけ —

あなたの愛の一声が

青少年をすこやかに育てます



■問合先 青少年センター ☎24・3004